

令和8年 11月2日[月]

10:00～12:00 (開場 9:30)

場 所 | ホテル白鳥 3階「鳳凰の間」
(島根県松江市千鳥町20)

Schedule

10:00 ▶ 開会挨拶

10:20 ▶ 基調講演
「日本のエネルギー政策とメタン
ハイドレート研究開発に関する
政府の取組」

講師：経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部
資源開発課長 東 哲也 氏

10:50 ▶ 特別講演
「メタンハイドレート研究における
膜構造の利活用」

講師：太陽工業株式会社 国土事業統括本部 国土技術部
部長 川岸 靖 氏

11:30 ▶ 促進対話
国と日本海連合構成府県
による意見交換

[出席者(予定)]
経済産業省資源エネルギー庁、花角新潟県知事(会長)ほか、
日本海連合構成府県知事(代理)、
青山繁晴衆議院議員(オブザーバー参加)

12:00 ▶ 閉会

主催：海洋エネルギー資源開発促進日本海連合

青森県 / 秋田県 / 山形県 / 新潟県 / 富山県 / 石川県 / 福井県 / 京都府
兵庫県 / 鳥取県 / 島根県 / 山口県

日本海海洋資源 フォーラム in 島根

Sea of Japan Marine Resources Forum in Shimane

日本海でのエネルギー資源の開発促進に向けて、
将来有望な資源として注目されている
メタンハイドレートに関するフォーラムを開催します。

参加
無料

[事前申込制]

日本海海洋資源 フォーラム in 島根

メタンハイドレート (methane hydrate) とは

メタンハイドレートは、低温・高圧の状態では結晶化した水分子のかごの中にメタン分子が入り込んだもので、一見すると、色白で、触ると冷たい、氷のような物質です。

中に入り込んでいるメタンは、発電や都市ガスに使われる天然ガスの主成分で、燃える性質を持っており、1 m³のメタンハイドレートから、160~170 m³ものメタンガスが発生します。

白く冷たいメタンハイドレートに火を近づけると、発生したメタンガスが勢いよく燃えることから、メタンハイドレートは「燃える氷」と呼ばれることがあります。

日本は、エネルギー資源の約9割を海外から輸入しており、日本近海に大規模な量が存在すると推定されているメタンハイドレートは、新しいエネルギー資源として注目されています。



「人工」のメタンハイドレート

出典：MH21-S 研究開発コンソーシアム

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合（会長：花角新潟県知事）は、日本海における海洋エネルギー資源の開発促進を目的として、日本海沿岸12府県が連携し、日本海におけるメタンハイドレート、石油、天然ガス等の海洋エネルギー資源の開発促進に向けた情報収集、調査研究、国への提案など、多彩な活動を展開しています。

公式WEBサイト

<https://www.nihonkaiengou.jp/>

海洋エネルギー 日本海連合



会場MAP



会場 | ホテル白鳥 3階「鳳凰の間」

- ・ JR松江駅よりタクシーで約10分
- ・ 米子鬼太郎空港より連絡バスで約45分、JR松江駅下車→JR松江駅より路線バスで約20分、松江しんじ湖温泉駅下車すぐ
- ・ 出雲縁結び空港より連絡バスで約40分、松江しんじ湖温泉駅下車すぐ

※会場の駐車台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。お車で越しの場合、近隣のコインパーキング等をご利用ください（駐車料金は各自負担となります）。

お申し込み方法

令和8年10月21日(水)
までに下記QRコードから
お申し込みください。



※参加申込でいただいた個人情報
は当フォーラムの目的
以外には使用いたしません。

定員 100名 **先着**

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

お問い合わせ先

島根県地域振興部地域政策課
TEL.0852-22-5083